

平成27年度 グッドジョブ賞 受賞者一覧

番号	所属	受賞者	概要
1	総務部 広報課	総括主任 野村 佳代 主事 佐々木 崇	<p>「新しい広報への挑戦・実行」 ～迅速かつ多くの県民に情報を伝える新たなツールを導入し、タイムリーに情報を発信～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フェイスブックに広報課公式ページを開設し、即時性を活かした新たな情報発信ツールとして確立（ほぼ毎日投稿（投稿数：222件（3月10日））、フェイスブック登録数：934件（3月10日）） ・ 県政広報誌をスマートフォンやタブレット端末でいつでも気軽に閲覧可能な「i広報紙」による配信を開始（都道府県で全国4番目、登録数：937件（2月末）） ・ 若者や県外に住む人たちが簡単に福井の情報を得ることができ、また情報を得た人がメールやSNSで情報を拡散していく効果的な広報を予算を使わずに実現
2	総合政策部 交通まちづくり課	主任 高木 直茂 主事 山田 崇博	<p>「福井駅広場で恐竜王国を再現」 ～県都の玄関口で実物大の動く恐竜モニュメントの設置や体験型イベントの開催により恐竜王国福井をPR～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福井駅西口広場において、実物大の動く恐竜モニュメント3体の設置、全国的にも例がないJR福井駅舎への恐竜壁画の設置、恐竜の3DCG動画アプリの配信など新たな観光スポットとして整備し「恐竜王国福井」を広くPR ・ 福井駅東口で出張化石発掘体験（4月17日～19日、160人参加）、まちなかクイズラリー（4月17日～19日、90人参加）、親子の恐竜模型づくり教室（7月20日、8月29日、81組参加）、きょうりゅう面白写真コンテスト（7月18日～8月30日、55件応募）など体験型のイベントを多数開催（恐竜広場への訪問者数：約5万5千人（3月14日～12月末））
3	総合政策部 女性活躍推進課	主事 井上 真希	<p>「ふくい元気女子交流会の実施」 ～福井で活躍する女性の情報を集めロールモデルとして発信し、また県内女性の交流会を開催～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福井の女性にさらに輝いてもらうため、様々な分野で活躍する県内女性の情報を収集し、個別に詳細インタビューを行って独自のネットワークを構築しながらロールモデルとなる女性を発掘 ・ ロールモデルとなる女性の活動内容や今後の予定、後輩へのメッセージ等をまとめ、フェイスブックで情報発信（15人（27年末現在）） ・ 情報収集の中で得られた、福井の女性が興味を引かれるテーマを選び、特に優れたメッセージ性のある先輩女性を講師に招き、県内女性の交流会「WORK & BEAUTYセミナー」を開催（3回、延べ約200人参加）
4	安全環境部 自然環境課	主任 西垣 正男 企画主査 内田 恵子 主事 木村 美貴 主事 高橋 康代	<p>「コウノトリの放鳥」 ～県内初、国内でも3番目となるコウノトリの野外放鳥を実現～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コウノトリを本県で野外定着させるため、23年から兵庫県のコウノトリのつがいを借り受け、飼育・繁殖事業を継続しており、26年に本県で50年ぶりとなるヒナが誕生し、27年10月3日に越前市で2羽を放鳥 ・ コウノトリを自然再生のシンボルとして、県内において、餌となる生き物が豊かな自然環境づくりを推進 ・ 放鳥した2羽は、東北から九州まで各地を訪れ、その先々で福井県からの「環境大使」として自治体ホームページや地元紙等で紹介（岐阜新聞、河北新報等）され、本県のPRに貢献
5	産業労働部 産業政策課	主査 増田 朋之	<p>「老舗企業チャレンジ応援」 ～老舗企業の持続的発展のため補助制度を実施し、申請に慣れない企業に対し事業計画などを手厚く指導～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開業から30年以上の小規模の老舗企業が店舗改装や設備導入などを行う取組みへの補助制度「ふくいの老舗企業チャレンジ応援事業」を企画し、27年度から実施（応募企業80社） ・ 全ての応募企業を訪問し、書面で汲み取れない部分の確認や現場の生の声を聴き取り、事業計画を直接指導し、計画の精度を向上（想定採択数20社→採択数27社、助成額：56,988千円） （補助制度：対象者…創業30年以上の小規模企業で、主に消費者向けに独自の商品、サービスを提供するもの 対象経費…店舗改装や設備導入に係る経費等、補助率2/3以内、上限300万円）
6	観光営業部 ブランド営業課	総括主任 岡 照晃 主査 松山 倫也 主査 欠戸 一裕	<p>「ミラノ万博に出展しふくいの魅力をPR」 ～ミラノ国際博覧会に出展し、本物にこだわる効果的な演出により福井の食や食文化、伝統工芸品を発信～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ミラノ国際博覧会の日本館イベント広場に、「禅（ZEN）と精進料理の福井」をテーマに出展し、永平寺僧侶による精進料理の実演や坐禅体験、昆布かき、越前漆器等伝統工芸の実演・体験により、本県の食や食文化、伝統の技を披露（27年10月24日～27日、来場者約1万8千人で日本館出展の26自治体の中で最多） ・ ミラノ市内で現地のバイヤーや行政関係者、観光事業者等を招き「ふくいの食と工芸」商談会・観光交流会を開催し、現地バイヤー等との間で具体的な商談が行われ、今後の商品開発や販路開拓、観光誘客につながるネットワークを構築（10月28日、参加者約100人、交渉中18件、契約成立2件（11月末））
7	農林水産部 水産課	主任 石本 健治	<p>「越前がに「極」の商品化」 ～越前がにの最高級ブランドを設定し、全国に向けたPRにより越前がにのブランド力強化に貢献～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 越前がにのブランド力を強化するため、最高級ブランドを設定し、越前がに「極」として販売を開始 ・ 最高級ブランドの設定については、各市場で考え方が異なるかにの重さや容姿、タグの管理等について、漁業者や市場関係者と協議を重ね、基準を統一（重さ1.3kg以上、甲幅14.5cm以上、爪幅3cm以上） ・ 豊漁と操業安全を祈願する出漁式の開催や、解禁日当日いち早く越前がに漁の状況を発信するため漁船へのマスコミ乗船取材を実施し、全国に向けたPRを実現 （「極」の初競りは10万4千円の高値、越前がに全体の平均単価が2割増）
8	農林水産部 森づくり課 丹南農林総合事務所 奥越農林総合事務所	主任 東 正樹 主任 小藤 隆一 主任 長野 真紀	<p>「越前オウレンの林業遺産認定」 ～越前オウレンの栽培地と技術体系が、北陸初となる「林業遺産」に認定～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本森林学会が認定する「林業遺産」に、生産者からの情報収集や認定機関への説明を精力的に行った結果、越前オウレンの栽培地と技術体系が北陸地方で初めて認定（5月26日） ・ 林業遺産認定は、オウレン栽培技術の希少性やオウレン畑の優れた景観の文化的価値が高く評価されたものであり、数多くの新聞やテレビに取り上げられ、越前オウレンの認知度とブランド力を大きく向上させ、また生産者の意欲向上に貢献

平成27年度 グッドジョブ賞 受賞者一覧

番号	所属	受賞者	概要
9	土木部 道路建設課 福井土木事務所	主任 谷口 直子 主任 下中 栄治	<p>「大名町交差点における鳥害対策」 ～景観に配慮した「タカによる追い払い」によって鳥害被害を減少～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大名町交差点周辺のケヤキ並木におけるムクドリ等の糞や騒音の鳥害対策のため、鳥の飛来や生息状況を調査し、タカによる追い払いを実施 ・ ネットを張ったり音を鳴らす対策に比べ、設置や管理コストがかからず、またケヤキ並木の景観を損ねない対策を実現 (26年12月15日：ムクドリ4,110羽、路面清掃頻度月2回→27年11月29日：ムクドリ0羽、路面清掃頻度月1回)
10	嶺南振興局 若狭健康福祉 センター	主任 辻 司代	<p>「地域における自殺対策の強化」 ～トイレに啓発物を設置し、心の不調に気づき相談してもらう機会を増加～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に自殺率が高い男性に、自分の心の不調に気づいてもらうため、コンビニエンスストアや駅、銀行等のトイレに、相談先を記載した名刺サイズの持ち帰り用「こころの相談カード」を設置し、定期的にカードの減少枚数を確認し補充（設置場所352か所） ・ 「心の相談カード」の設置場所には、心が不調の場合のサインやメッセージを男女別に作成し掲示しており、特に男性用には自分を客観的に判断できるよう、また女性用にはやさしい印象を与えるよう配慮 (カード配布3,293枚（うちコンビニトイレ2,089枚（男性トイレ63%、女性トイレ37%）） カードをみて電話した件数57件)
11	教育庁 高校教育課	指導主事 加藤 龍一	<p>「高校生の資格取得を応援する制度の創設」 ～高校生の資格取得や検定試験の合格等を得点化し、三段階のグレードを認定～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職業系高校の生徒を対象に、資格取得、検定合格および各種コンクールの入賞等を難易度や企業ニーズに応じて得点化し、獲得した得点によって三段階のグレードを認定する「福井フューチャーマイスター制度」を都道府県では全国で初めて創設 ・ 制度設計に当たっては、県内企業3,000社へのアンケートや企業訪問によるヒアリング、また企業や学校との検討委員会を開催し、現場の意見をできるだけ盛り込み、就職に有利な資格や企業からの要望が強い資格を中心に134の資格等を対象に決定 ・ 難易度の高い資格試験の受験料を一部補助することとし、積極的に資格試験等に取り組むことができるとともに、認定は就職採用選考時の生徒の自己PRおよび企業の選考基準の一つとして活用